

※下書き用紙に表示している内容は2024年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2024年度

スカラネット入力下書き用紙

【貸与奨学金のみ申込み用】(通信教育夏季・冬季スクーリング及び放送大学)

※通年スクーリングの方は、貸与奨学金案内(大学等)の下書き用紙を使用してください。



独立行政法人

日本学生支援機構

JASSO Japan Student Services Organization

貸与奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。在学している学校が確認大学等(給付奨学金対象校)であり、給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む場合は、給付奨学金案内に挟み込まれている「スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金(貸与同時申込み)用】」を使用してください。

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>

受付時間 8:00~25:00(最終締切日は8:00~24:00)

※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。

入力所要時間の目安は30分~1時間です。



氏名	学籍番号	学部・学科・分野

入力の際に必要な項目です。学校の担当者にも必ず正しい名称を確認してください。

受付番号									

入力が完了し「送信」ボタンを押した後に、受付番号が画面に表示されます。太枠部分は、定期採用で申込みした場合は「2」、緊急採用・応急採用で申込みした場合は「3」になります。

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

- ・学校から受け取った識別番号(ユーザIDとパスワード)
- ・マイナンバー提出書
- ・奨学金振込口座(本人名義)の通帳などのコピー(本冊子15ページに貼り付けてください。)

【スカラネット入力内容記入欄】

※インターネットで申し込む際は、「貸与奨学金案内(通信)」32ページ「文字入力」を参照して文字を入力してください。

識別番号入力

あなたの識別番号(学校から交付されたユーザIDとパスワード)を入力してください。

【注】パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID パスワード

パスワードはスカラネット入力時は黒丸記号での表示になります。入力がエラーになる場合は、入力した文字を目で見て確認できるよう、最初にユーザID欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。

奨学金学種(学校)・申込の選択

あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

課程を選択してください。

課程：大学(夏季スクーリング)の場合の表示例

<奨学金学種(学校)の選択>

あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

課程を選択すると、申し込む奨学金を選択する画面が表示されます。

申し込む奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 定期採用(夏季スクーリング又は冬季スクーリング)

- 現在在学している大学での奨学金を申し込むことができます。

(2) 家計急変採用(給付奨学金のみ)

- 生計維持者に特定の事由が生じたことで家計急変し、急変後の収入状況が地方税情報に反映される前に支援を要する場合のみ申し込むことができます。学校で申込資格を確認してください。

あなたが在学している学校が確認大学等(給付奨学金対象校)でない場合(2)家計急変採用(給付奨学金のみ)は表示されません。

①—あなたの氏名・誓約情報

日本学生支援機構理事長 殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「確認書兼同意書」にしたがい、奨学生に採用決定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

誓約日 令和 年 月 日 (半角数字)

姓名 (全角漢字) 姓 名 (5文字以内 5文字以内)

氏名 (全角カナ) (15文字以内 15文字以内)

生年月日 年 月 日生

国籍 日本国籍 日本国籍以外

国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。

※国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。
 ※在留資格が永住者又は特別永住者の場合は、在留期間（満了日）の入力は不要です。

在留資格 (▼)

在留期間（満了日） 西暦（半角数字4桁） 年 月 日

在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。 はい いいえ

在留資格が「家族滞在」の場合、大学等を卒業後も日本で就労し、定着する意思がありますか。
 はい いいえ

在留資格が「家族滞在」の場合、日本国へ初めて入国した日について入力してください。

日本国へ初めて入国した日 西暦（4桁） 年 月 日

日本国の小学校を卒業しましたか。 はい いいえ

卒業した小学校名
 卒業した小学校の所在地（都道府県） (▼)

日本国の中学校を卒業しましたか。 はい いいえ

卒業した中学校名
 卒業した中学校の所在地（都道府県） (▼)

日本国の高等学校を卒業しましたか。 はい いいえ

卒業した高等学校名
 卒業した高等学校の所在地（都道府県） (▼)

※誓約日は以後訂正することができません。

あなたが在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）である場合は、給付奨学金の内容を含んだ画面が表示されます。

誓約日はスカラネット入力日としてください。ここで入力した誓約日を基準とし、成年判定を行います。

「貸与奨学金案内（通信）」32ページを参照しながら、学生本人の本名を全角で入力してください。
(例) 漢字氏名
カナ氏名

△カナ氏名は、振込口座の名義人氏名と同一である必要があります。通帳の口座名義人氏名を必ず確認しながら入力してください。

生年月日の入力を誤ると、正しく成年判定を行うことができませんので注意してください。

外国籍の人は「貸与奨学金案内（通信）」8ページの表のとおり**在留資格に制限があります**。必ず在留資格を在留カード等で確認してください。

日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者及び家族滞在の人は、在留期間（満了日）を入力してください。在留資格が法定特別永住者又は永住者の場合は、在留期間（満了日）の入力は不要です。

STEP3

②-奨学金申込情報

給付奨学金に関する入力項目が表示される場合は設問の番号が異なります。

1. あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

- (1) 第一種奨学金のみ希望します。
- (2) 第二種奨学金のみ希望します。
- (3) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与を希望します。

»奨学金給付額情報

貸与奨学金のみ希望する人は、入力の必要はありません。

2. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する返還方式を選択してください。

(注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

(1) 所得連動返還方式 定額返還方式

(2) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。

(2) はい いいえ

「はい」と答えた人はこれまでに今回申込と同一学種で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。

奨学生番号

(半角数字)

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込を行ってください。

(注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

再貸与の制度を表示

同意します

3. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

(1)

2万円	3万円	4万円	5万円	6万円	7万円
8万円	9万円	10万円	11万円	12万円	

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。

この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくこととなります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

はい いいえ

(2) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

(2) 利率固定方式 利率見直し方式

「貸与奨学金案内（通信）」26ページの解説内容をよく確認し、希望する1つを選択してください。

あなたが在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）である場合は、給付奨学金の内容を含んだ画面が表示されます。

第一種奨学金を希望する人は、返還方式を選択できます。「貸与奨学金案内（通信）」16ページを確認のうえ、どちらかを選択してください。

過去に同じ学種で第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」を選択してください。

第一種奨学金の再貸与制度とは？
過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同じ学種（大学、短期大学、専修学校等）で再度新たに第一種奨学金の貸与を受けることができる制度です。詳しくは「貸与奨学金案内（通信）」の25ページを参照してください。

②-奨学金申込情報直上の(2)で「はい」と答えた人に表示されます。

プルダウンリストから希望する月額を選択してください。

併用貸与を希望した人に表示されます。
併用貸与については、「貸与奨学金案内（通信）」6ページを参照してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金で最高月額を選択した人に表示されます。

併用貸与を希望した人は、貸与月額が適切であることを確認後、「はい」を選択してください。

返還時の利率の算定方法を選択する項目です。詳しくは「貸与奨学金案内（通信）」14ページを参照してください。

STEP4

③—あなたの在学情報

1. 学校

(1) あなたの学校名を確認してください。 (1) ××大学

(2) あなたの学籍番号を記入してください。

(2) (半角英数字)

(2) 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字を入力することができません。学籍番号にそれ以外の文字が使われている場合、学校の指示に従ってください。

(3) 学年を記入してください。

(3) (半角数字) 学年

(3) 下記に掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照し、卒業年月に合わせた実質学年を入力してください。

(4) 現在通っている学校への入学について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。

①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)
→入学した年月： 西暦(半角数字4桁) 年 月

②現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した。(以下3つの年月を全て記入してください。)

→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月

→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月

→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月

③現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した(編入学又は転学の前に在学していた学校(大学、短大、高専、専門学校)が2つ以上ある。)(以下5つの年月を全て記入してください。)

【1回目の編入学】

→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月

→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月

→2回目の学校へ編入学又は転学した年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月

【2回目の編入学】

→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月

→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月

(5) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。

(5) 西暦(半角数字4桁) 年 月卒業予定

(5) 通常は正規の卒業予定年月を入力します。過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の卒業予定ではなく、今現在の卒業予定期を入力してください(左に掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照してください)。

(6) あなたの正規の修業年限を記入してください。

(6) (半角数字) 年 カ月

(7) あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。

※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

(7) (郵便番号) (半角数字) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降)(全角文字)

<入学・卒業予定年月早見表>

2024年4月現在 1年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2024/4	2026/3
3年		2027/3
4年		2028/3

2024年4月現在 2年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2023/4	2025/3
3年		2026/3
4年		2027/3

2024年4月現在 3年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年	2022/4	2025/3
4年		2026/3

2024年4月現在 4年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
4年	2021/4	2025/3

2. あなたの通学形態を選択してください。 自宅通学(またはこれに準ずる) 自宅外通学

「2.あなたの通学形態を選択してください。」においては、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択してください。また、この設問に続く通学形態に関する他の設問は入力不要です。

STEP4

④—あなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦（半角数字4桁）年月卒業または退学

直近に卒業又は退学した学校の年月及び学校を選択してください。

2. あなたは国内の高等学校（本科）を卒業しましたか。

※ここでいう「高等学校」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校（第1学年から第3学年まで）又は専修学校の高等課程（修業年限が3年以上のもの）を含みます。（インターナショナルスクールや在外教育施設等を含みません。）

※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。

はい いいえ

「はい」と答えた人にお聞きます。あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。

西暦（半角数字4桁）年月

高等学校卒業後に専修学校高等課程などに進学・卒業した場合、「あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月」は専修学校高等課程ではなく高等学校の卒業年月を入力してください。

「いいえ」と答えた人にお聞きます。あなたが現在通っている学校への入学前の履歴は次のうちどちらになりますか。

- 高等学校卒業程度認定試験合格者
- その他（インターナショナルスクール、在外教育施設等）

「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人にお聞きます。あなたは高等学校卒業程度認定試験にいつ合格しましたか。

西暦（半角数字4桁）年月

あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度（16歳になる年度）から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで5年を経過していますが、5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していましたか。

はい いいえ

「その他」と答えた人にお聞きます。あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名（正式名称）とその学校を卒業又は修了した年月を記入してください。

西暦（半角数字4桁）年月

「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」とは、下記のような場合が該当します。

- (例)
- ・16歳になる年度：2015年度
 - ・16歳になる年度から5年経過
⇒ 2020年4月1日以降
 - ・2020年度、2021年度に高等学校卒業程度認定試験受験（不合格）
 - ・2022年度に高等学校卒業程度認定試験受験（合格）

3. 【給付】あなたはこれまでに、日本学生支援機構の給付奨学金（原則、返還不要）を受けていますか。（現在支給が終了しているものを含む） はい いいえ

【貸与】あなたはこれまでに、「②—奨学金申込情報」で入力した他に日本学生支援機構の貸与奨学金（第一種・第二種）（原則、要返還）を受けていますか。（現在貸与が終了しているものを含む） はい いいえ

上のいずれかの設問で「はい」を選択した人は、その奨学生番号を記入してください。

- ※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合は、貸与額が調整されます。
- ※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入してください。
- ※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

②—奨学金申込情報で入力した奨学生番号以外に、日本学生支援機構の給付奨学金又は貸与奨学金を受けている、あるいは受けたことがある場合は、設問にて「はい」を選択のうえ、その奨学生番号を全て入力してください。
②—奨学金申込情報で入力した奨学生番号以外に奨学金を受けたことがない場合は、設問で「いいえ」を選択してください。なお、採用取消となったものは入力しないでください。
高校在学中に、都道府県等（日本学生支援機構及び日本育英会以外）から奨学金の貸与を受けていた人は、「いいえ」を選んでください。高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、平成17年度入学者より、日本学生支援機構から各都道府県に移管されました。

奨学生番号 1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	削除	追加
半角数字	例 奨学生番号 1	611	04	999999	削除 追加
	奨学生番号 2	618	08	999999	削除 追加
	奨学生番号 3	809	01	999999	削除 追加
	奨学生番号 4	814	02	999999	削除 追加
	奨学生番号 5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	削除 追加

②—奨学金申込情報で入力した奨学生番号は入力しないでください。奨学生番号が複数ある場合は「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を入力してください。入力を取り消す場合は「削除」ボタンを押してください。

※第二種奨学金の貸与について確認してください。

あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。日本学生支援機構の規定により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借りられる期間が制限される場合があります。

確認しました

同一の学校区分（大学・短期大学・専修学校等）で2回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。

STEP5

⑤-保証制度

1. あなたが希望する保証制度を選択してください。

(1) 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

(2) 人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

チェックを入れないと次に進むことができません。

2/8画面 ②-奨学金申込情報にて、
「(3) 第一種奨学金及び第二種奨学金を希望します。」を選択し
かつ第一種奨学金の返還方法について所得連動方式を選択した場合

1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は登録できません。

(1) 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

所得連動返還方式を希望する場合、第一種奨学金の保証制度は「機関保証」となります（「人的保証」は表示されません）。
詳細は「貸与奨学金案内（通信）」20ページを参照してください。

2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

(1) 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

(2) 人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

チェックを入れないと次に進むことができません。

STEP6

⑥-貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報

1. あなた自身について入力してください。

(1) あなたのお名前は△△ ○○さんですね。

(2) あなたの性別を選択してください。（任意）

(2)

(3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。

(3) 成年判定

(4) あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

(4) (郵便番号) (半角数字) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

(5) あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字) - -

携帯電話の電話番号を記入してください。 (携帯) (半角数字) - -

①-あなたの氏名・誓約情報で入力した姓名が表示されます。

①-あなたの氏名・誓約情報で入力した生年月日により判定されます。

・あなたのマイナンバーを申込時に提出できない場合は、**住民票住所**の入力が必要です。
※下記の「住所の入力例」参照。
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

住所の入力例

(郵便番号) 162 - 9999 ←押下

注意！
表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所1(自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目
○東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目
○東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

住所2(番地以降) 99-9 機構ハイツ505

注意！

※番地以降を全て全角で入力してください（英数字やハイフン、スペースを含む）。入力漏れがあると次の画面に進めません。

※番地以降のない住所は、住所2欄に全角で「.（ピリオド）」を入力してください。

※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力しないでください。左記例の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、住所2欄に誤って「1丁目99-9・・・」と入力した場合、届出内容は「1丁目1丁目99-9・・・」となります。

※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡の取れる国内の住所、電話番号の入力をしてください。

※「⑤－保証制度」での選択によって、**9**～**10**ページの記入する場所が変わります。

「機関保証」を選択した人 → **9**ページの「2.本人以外の連絡先について」以降を記入してください。

「人的保証」を選択した人 → 下記の「連帯保証人・保証人について」を読んだうえで、**9**
10ページの「3.連帯保証人と保証人について」以降を記入してください。

連帯保証人・保証人について

⑤－**保証制度**で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ（合計2人）入力する必要があります。

連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。

保証人には、「分別の利益」が適用されます。また、「検索の抗弁権」及び「催告の抗弁権」があります（連帯保証人には適用されません）。詳しくは、「貸与奨学金案内（通信）」22ページを参照してください。

また、「貸与奨学金案内（通信）」22～25ページにより、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、**9**ページの（1）、**10**ページの（2）を記入してください。

もし、**1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。**あらためて条件に合致する別の人を選任しなおしてください。条件に合致する人を選任できない場合は、⑤－**保証制度**で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。

採用時に提出しなければならない書類（返還誓約書）には、スカラネットで入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印（実印）し、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。**スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得ておいてください。**

⑤-保証制度 で「(1) 機関保証」を選択した人

2. 本人以外の連絡先について

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名

姓 名

(1) 漢字 (全角漢字)

カナ (全角カナ)

(2) その生年月日 (2) 年 月 日生

(3) あなたとの続柄 (3)

(4) その住所 (4) (郵便番号) (半角数字) -

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(5) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字) --

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) --

⑤-保証制度にて「機関保証」を選択した場合に表示されます。

機関保証を選択した人は、あなた（本人）以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。

※注意！「本人以外の連絡先」を入力する前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されると返還誓約書に印字されます。万一、返還誓約書に自署してもらえないと不備となり奨学生の資格を失うこととなります。

7ページの「住所の入力例」参照

固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

⑤-保証制度 で「(2) 人的保証」を選択した人

3. 連帯保証人と保証人について

あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

- ・あなた（申込者）が未成年の場合 連帯保証人には親権者（未成年後見人）を選任してください。
- ・あなた（申込者）が成年の場合 原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓 名

(a) 漢字 (全角漢字)

カナ (全角カナ)

(b) その生年月日 (b) 年 月 日生

(c) あなたとの関係 (c)

未成年後見人の場合は、その続柄

(d) その住所

・連帯保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号) (半角数字) -

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字) --

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) --

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (半角数字) --

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

⑤-保証制度にて「人的保証」を選択した場合に表示されます。

連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「貸与奨学金案内（通信）」22～25ページを確認してください。

7ページの「住所の入力例」参照

固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と入力してください。無職の場合は何も入力しないでください。

人的保証を選択した人は、10ページの「(2)保証人について入力してください。」を記入してください。

(2) 生計維持者① (父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人)

(a) あなたとの続柄

(a)

(b) 生計維持者①の氏名

姓 名

(b) 漢字 (全角漢字)

カナ (全角カナ)

(c) 生計維持者①の住所

(c) (郵便番号) (半角数字) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

(d) 生計維持者①の生年月日

(d) 年 月 日生

(e) 生計維持者①のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。

(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
 (注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。
 提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

準備できている

これから準備する

その他

(f) 生計維持者①は2022年1月2日以降に転職しましたか。

※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。

はい いいえ

「はい」を選択した場合も、マイナンバーで連携した情報 (2022年1月～2022年12月の収入情報) にて審査を行います。ただし、選考結果によっては、書面による直近の給与明細等の提出により、再審査を希望することができます。次から選択してください。

第一希望の貸与奨学金が不採用となる場合、給与明細等を書面で提出し、再審査を希望します。

※再審査を希望する場合には、追加で生計維持者の給与明細等の提出が必要になることがあります。また、書面審査には1～2か月かかりますので、選考が大幅に遅れることがあります。

上記の内容を理解の上、直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望します。

直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望しません。

※なお、給付奨学金については、直近の給与明細等での審査は行いません。

(g) 生計維持者①は2023年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。

はい いいえ

(h) 生計維持者①は2023年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。

はい いいえ

生計維持者①の入力は必須です。
 ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。

離婚後に父母が再婚 (事実婚含む) している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。
 その際は、養子縁組の有無に関らず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

「貸与奨学金案内 (通信)」32ページを参照しながら、生計維持者①の本名を全角で入力してください。

海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。

二次採用 (秋) で申し込む場合は、2022年を2023年に読み替えてください。

二次採用 (秋) で奨学金を申し込む場合は、2023年を2024年に読み替えてください。

(3) 生計維持者② (父、母など)

- (a) あなたとの続柄 (a)
- (b) 生計維持者②の氏名
 - (b) 漢字 (全角漢字) 姓 名
 - カナ (全角カナ)
- (c) 生計維持者②の住所
 - (c) (郵便番号) (半角数字) - 住所検索
 - 住所 1 (自動入力)
 - 住所 2 (番地以降) (全角文字)
- (d) 生計維持者②の生年月日 (d) 年 月 日生
- (e) 生計維持者②のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。

(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
 (注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。
 提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

準備できている
 これから準備する
 その他

- (f) 生計維持者②は2022年1月2日以降に転職しましたか。
 ※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。
 はい いいえ

「はい」を選択した場合も、マイナンバーで連携した情報 (2022年1月～2022年12月の収入情報) にて審査を行います。ただし、選考結果によっては、書面による直近の給与明細等の提出により、再審査を希望することができます。次から選択してください。

第一希望の貸与奨学金が不採用となる場合、給与明細等を書面で提出し、再審査を希望します。
 ※再審査を希望する場合には、追加で生計維持者の給与明細等の提出が必要になることがあります。また、書面審査には1～2か月かかりますので、選考が大幅に遅れることがあります。

上記の内容を理解の上、直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望します。

直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望しません。
 ※なお、給付奨学金については、直近の給与明細等での審査は行いません。

- (g) 生計維持者②は 2023年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。 はい いいえ
- (h) 生計維持者②は 2023年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。 はい いいえ

父母のうちページ (2) に入力した人ではない人を、必ず入力してください。ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。
 ※一人親の場合は (3) の入力は不要です。
 ※父母ともいない場合で代わって生計を維持している人がいるときは、主に生計を維持している人をページ (2) 生計維持者①に入力してください。(3) の入力は不要です。

離婚後に父母が再婚 (事実婚含む) している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。
 その際は、養子縁組の有無に関らず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

「貸与奨学金案内 (通信)」32ページを参照しながら、生計維持者②の本名を全角で入力してください。

海外の住所を入力することはできません。連絡のとれる日本国内の住所を入力してください。

二次採用 (秋) で申し込む場合は、2022年を2023年に読み替えてください。

二次採用 (秋) で奨学金を申し込む場合は、2023年を2024年に読み替えてください。

STEP9

⑧-奨学金振込口座情報

1. 公金受取口座の利用を希望しますか。 1. 希望します 希望しません
2. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 2. 銀行等 ゆうちょ銀行

公金受取口座とは

設問1.で「(公金受取口座の利用を)希望します」を選択した場合、奨学金の振込先は原則としてあなたが国(デジタル庁)に事前登録した公金受取口座となります。ただし、あなたの公金受取口座情報を機構が利用できない場合に備えて、奨学金の振込先となる口座情報を入力する必要があります。なお、公金受取口座と同じ口座情報を入力して構いません。

奨学金申込の時点で公金受取口座を登録済であるのみ、「希望します」を選択することができます。ただし、公金受取口座が奨学金の振込に利用できない口座(「貸与奨学金案内(通信)」14ページ参照)の場合は、「希望しません」を選択してください。

注意事項を記載していますので、公金受取口座の利用を希望する場合はこのボタンを押して必ず確認してください。

【銀行等を選択した場合】

金融機関名および支店名を選択してください。

- (1) 金融機関名の読みの先頭1文字を選択してください。 (1)
- (2) 金融機関名を選択してください。 (2)
- (3) 支店名の読みの先頭1文字を選択してください。 (3)
- (4) 支店名を選択してください。 (4)

3. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

3. 普通(総合)口座

確認のため、再度口座番号を入力してください。 確認用

4. 口座名義人を入力してください。

(口座名義人は本人に限ります)

4. 口座名義人(全角カナ) 姓 名

【ゆうちょ銀行を選択した場合】

3. 貯金通帳等で確認後、口座の記号-番号を入力してください。

3. 記号-番号 記号 - 番号

確認のため、再度口座の記号-番号を入力してください。

確認用 記号 - 番号

4. 口座名義人を入力してください。

(口座名義人は本人に限ります)

4. 口座名義人(全角カナ) 姓 名

口座名義人は、①-あなたの氏名・誓約情報 で入力したカナ氏名と完全に同一である必要があります。
 ※姓と名でそれぞれ15文字まで入力できます。
 ※姓が15文字以上ある人は、15文字まで姓に入力し、16文字以降は名に入力してください。
 ※ミドルネームがある人は、名の欄に「ミドルネーム」と「名前」をスペースなしで入力してください。

記入内容を点検しましょう！

- 氏名は本名で記入しましたか？
- 住所・電話番号をもれなく正確に記入しましたか？
- 口座番号を正確に記入しましたか？(誤りがあると振込みできません)



入力完了後に表示される受付番号を下書き用紙の①ページに記入してください。

入力後、「次へ」ボタンを押すと、奨学金振込口座情報確認に進みます。口座情報に誤りがなければ確認してから、「次へ」ボタンを押してください。以降は「貸与奨学金案内(通信)」35ページを見ながら、画面の指示に従って進めてください。

【通帳の口座名義人・口座情報が記載されているページの「バー」をここに貼り付け】

注意！口座情報に誤りがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。

入力しようとしている口座が奨学金を受け取れる口座かどうか、次のチェックリストを使って確認してください。

- あなた本人の預・貯金口座です。
 - 銀行等の普通預金口座、または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座です。
 - 誓約欄のカナ氏名と通帳の口座名義人（カナ）は完全に同一です。
 - 金融機関名・支店名・口座番号（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号・番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいです。（※）
 - この通帳は1年以内に記帳できました（休眠口座ではありません）。
 - 農協、信託銀行、外資系銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等の口座ではありません。
- ※ 3か月以内に新設された支店は選択できない場合があります。

金融機関

支店
(支店コード 3ケタ)

口座番号

※番号が7桁に満たない場合は、そのままの桁数で入力してください。

口座名義人
(あなた本人)

記号

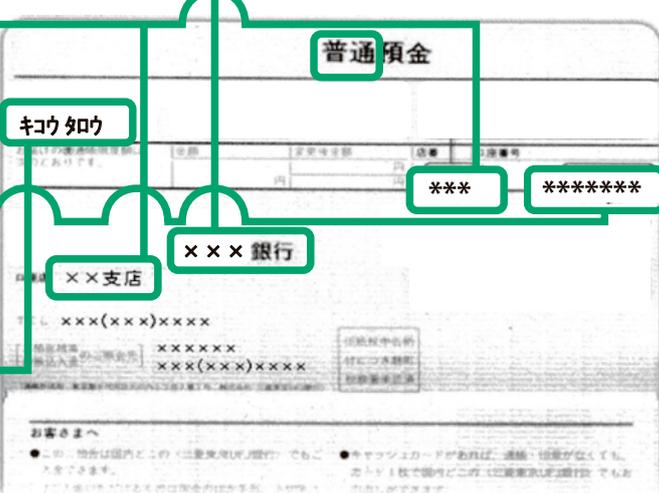
番号

※番号が8桁に満たない場合は、そのままの桁数で入力してください。

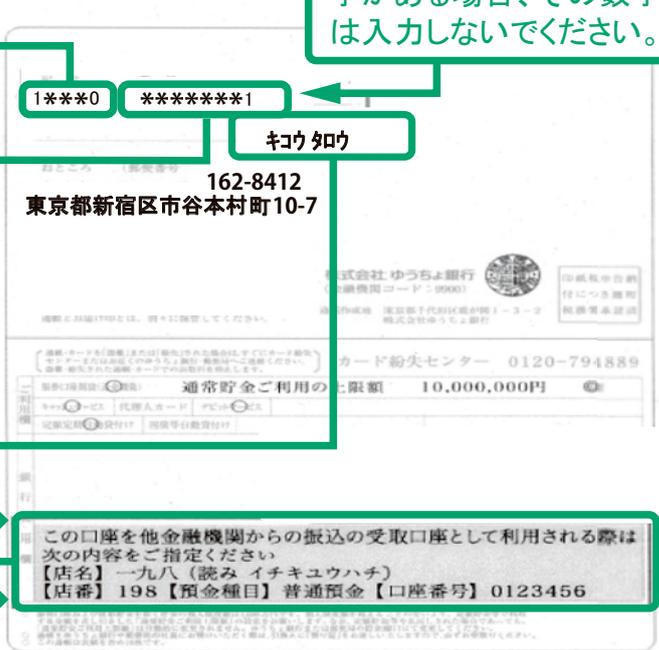
口座名義人
(あなた本人)

この番号では、振込みできません

■銀行等



■ゆうちょ銀行



スカラネットによる奨学金申込時の重要事項

奨学金を申し込む前に、下記の重要事項を必ず確認したうえで、スカラネットより申し込んでください。
なお、内容は2024年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります。

■重要事項確認（必須）

奨学金の申込みにあたって、以下の事項を全て確認し、理解している場合は「はい」、理解していない場合は「いいえ」を選んでください。

全ての事項を確認した後、下の「送信」ボタンを押してください。

奨学金における確認事項	はい (理解している)	いいえ (理解していない)
1. 在学中の学業成績や家計状況が基準を満たさない場合、奨学金が受けられなくなることがあります。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>
2. 奨学金支給中に様々な届出や報告などを求めることがあります。必要な手続きを行わない場合、奨学金の振込が遅れたり、止まったりする可能性があります。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>
3. 貸与奨学金はあなた本人に返還の義務があり、締め切り日までに返還誓約書を提出しなければなりません。提出しない場合、採用が取り消されます。また、借りる金額が大きいと返す時の負担も大きくなります。貸与月額、月々必要となる金額をよく考えて選ぶ必要があります。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>
4. 貸与奨学金の返還を延滞すると、延滞金が賦課されます。延滞が長くなると法的措置等が行われることがあります。また、奨学金の返還が困難になった場合は、願い出により、毎月の返還額を2/3、1/2、1/3又は1/4に減額し返還期間を延長する「減額返還制度」や、一定期間返還期限を先延ばしする「返還期限猶予制度」を利用できる場合があります。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>

※最後に給付奨学金に関するアンケートが表示される場合があります。

スカラネットの動作確認済み環境

[パソコン]

OS : Windows 10、11

ブラウザ : Microsoft Edge

[モバイル端末]

OS : iOS 13以上、iPadOS 13以上、Android 8.0以上

ブラウザ : Mobile Safari、Android用モバイル版Google Chrome

(注1) フィーチャーフォンには対応していません。

(注2) アップル社が販売しているmacOSを搭載するコンピュータについては未確認です。